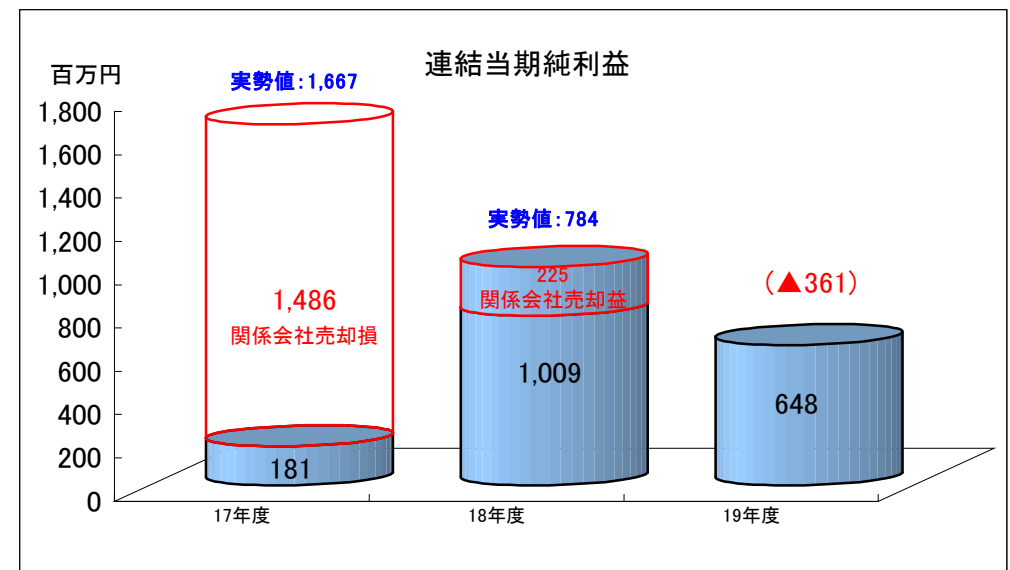
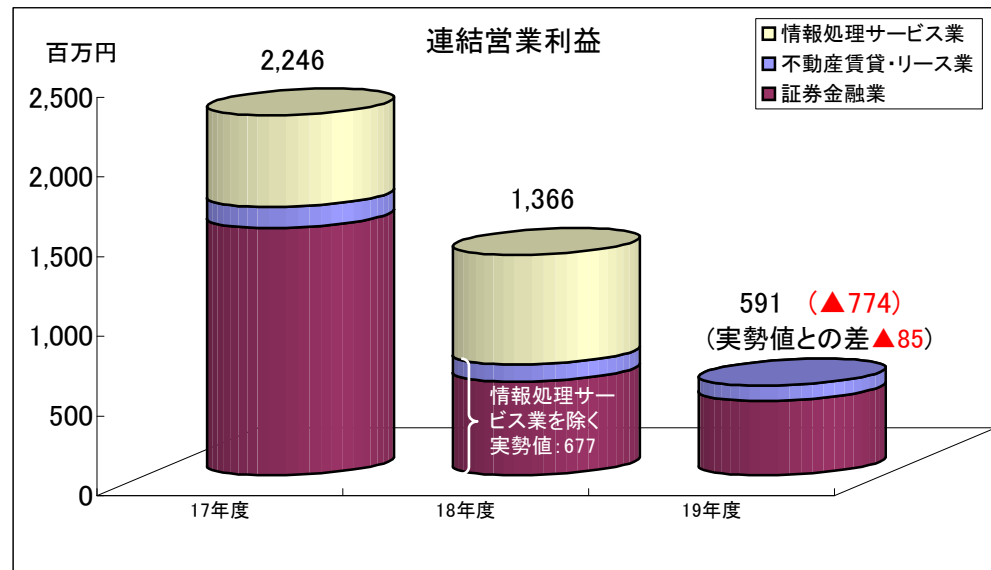
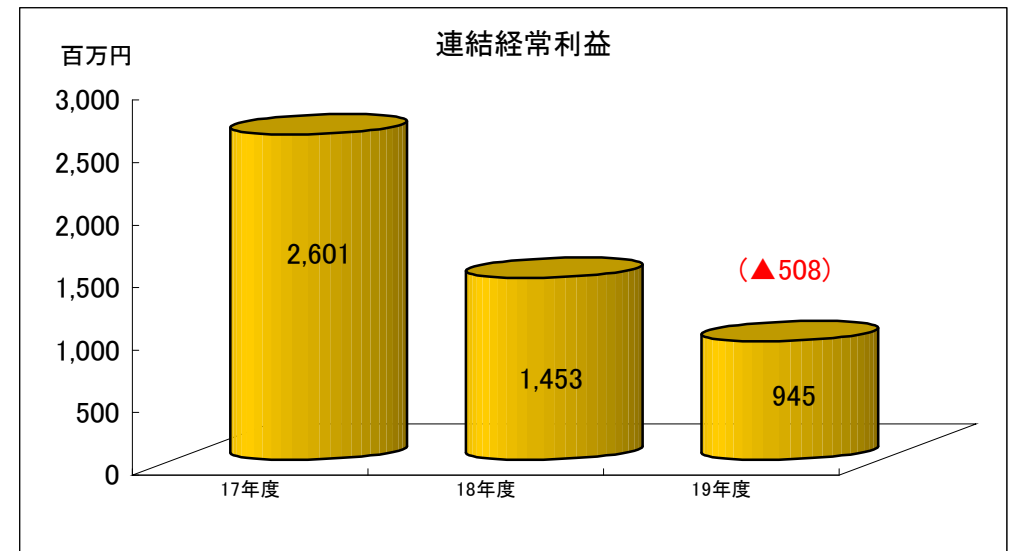
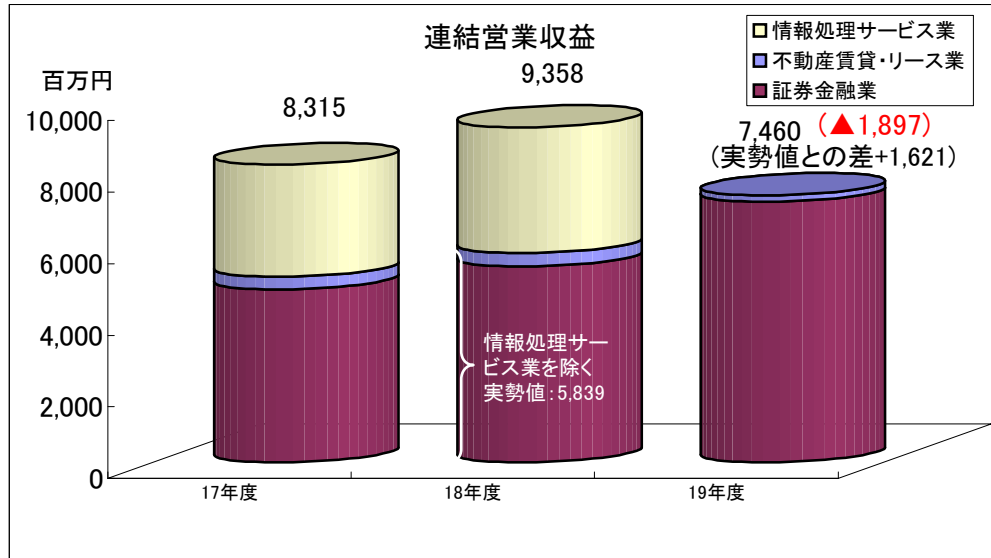


平成19年度 連結決算の概要

☆営業収益は実勢値ベースで増収となったものの、経常利益・当期純利益は減益

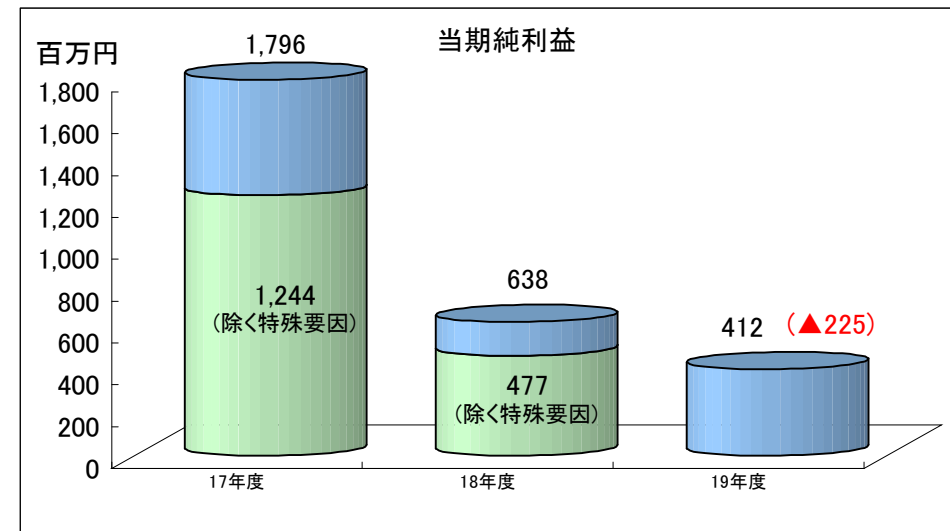
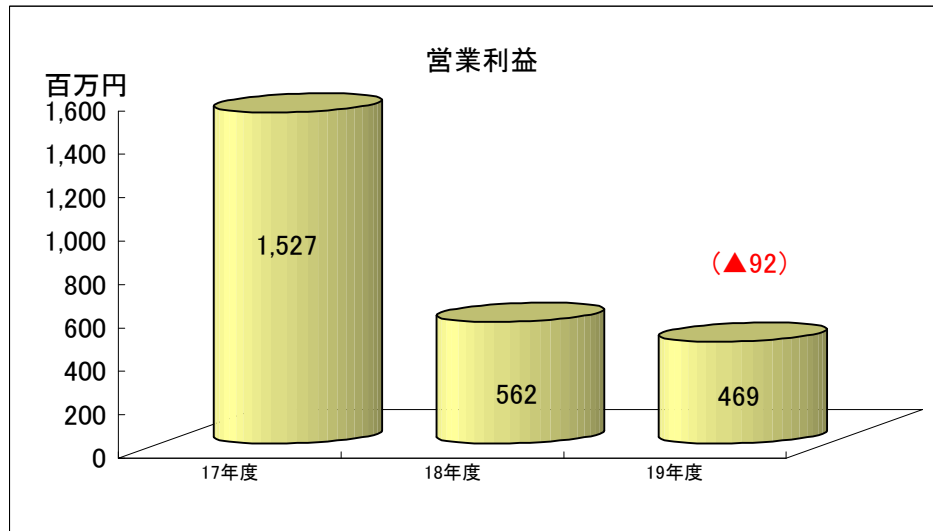
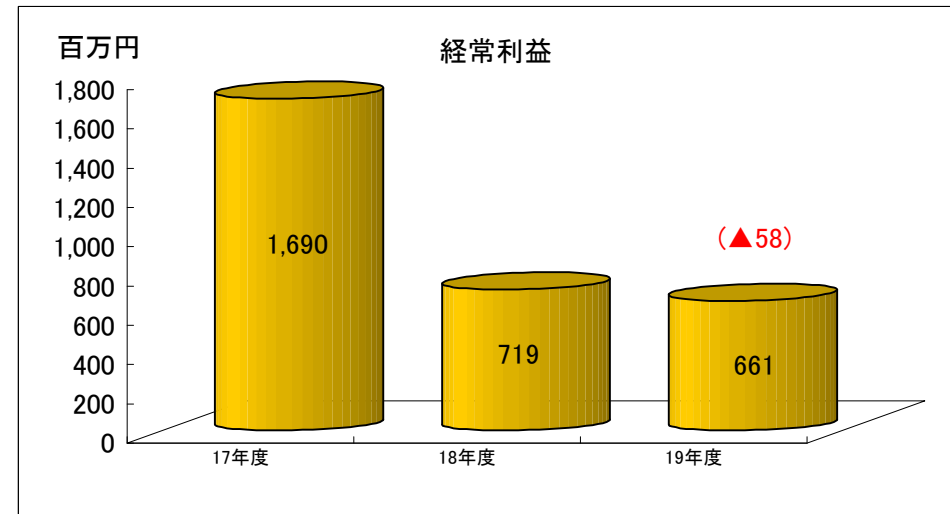
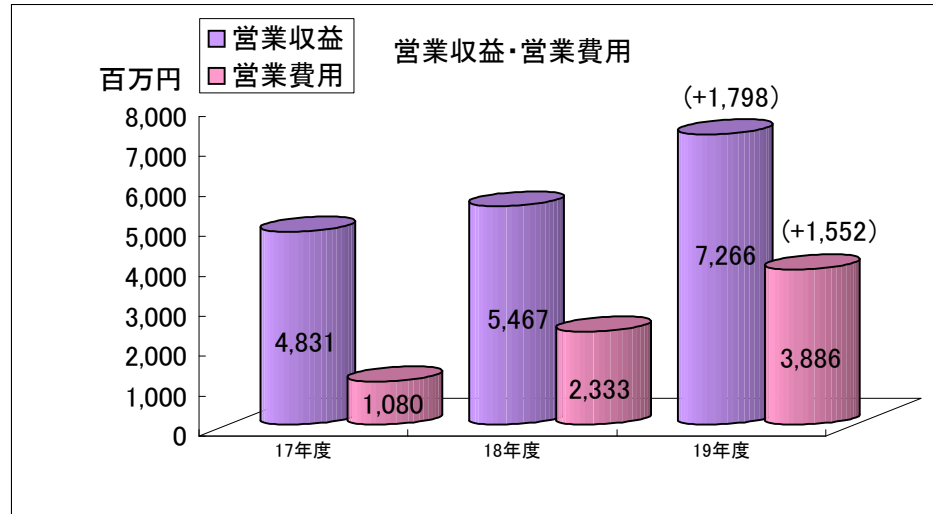


- (注) 1 当年度第1四半期から、セグメント情報は次の区分変更等を行った結果、「証券金融業」と「不動産賃貸・リース業」の2区分になっております。
 ①ODKソリューションズが連結子会社から持分法適用会社へ異動したことに伴う「情報処理サービス業」の除外
 ②大証金ビルディングが行うリース業の金額的重要性が低下したため、「不動産賃貸・リース業」に集約
- 2 だいこう証券ビジネスの子会社である日本クリアリングサービスにつきましては、だいこう証券ビジネスの持分法損益に含めて計算しております。

単体決算の概要

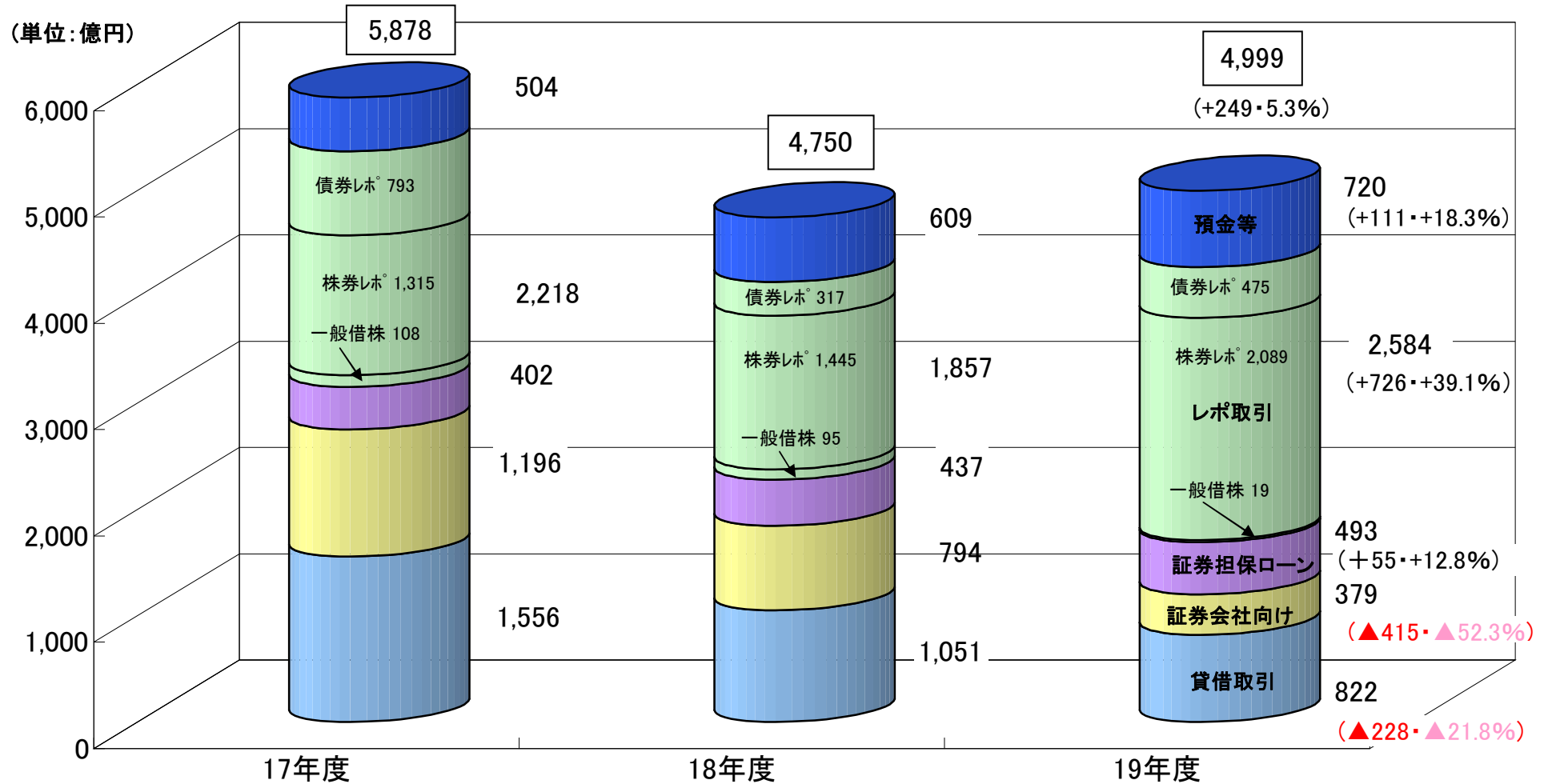
(1)収支状況

☆営業収益は株券レポ取引およびビジネスローンの増加を中心とした運用平残の増加に加え、利鞘の拡大もあり増収(32.9%)
営業利益・経常利益・当期純利益はいずれも減益(▲16.4%・▲8.1%・▲35.4%)



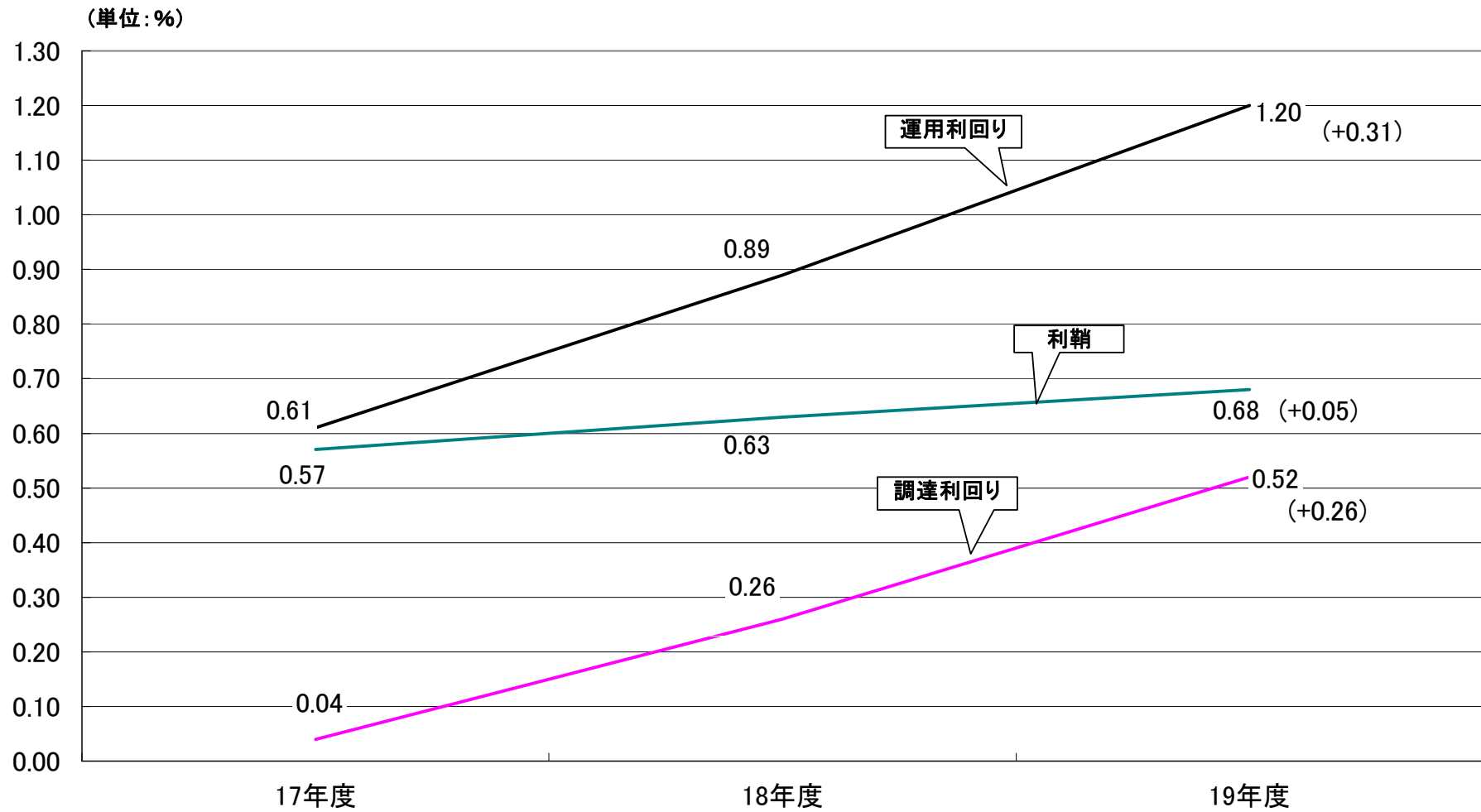
(2) 資金運用平均残高

☆株券レポ取引、ビジネスローンおよび預金等の増加を主因に増加



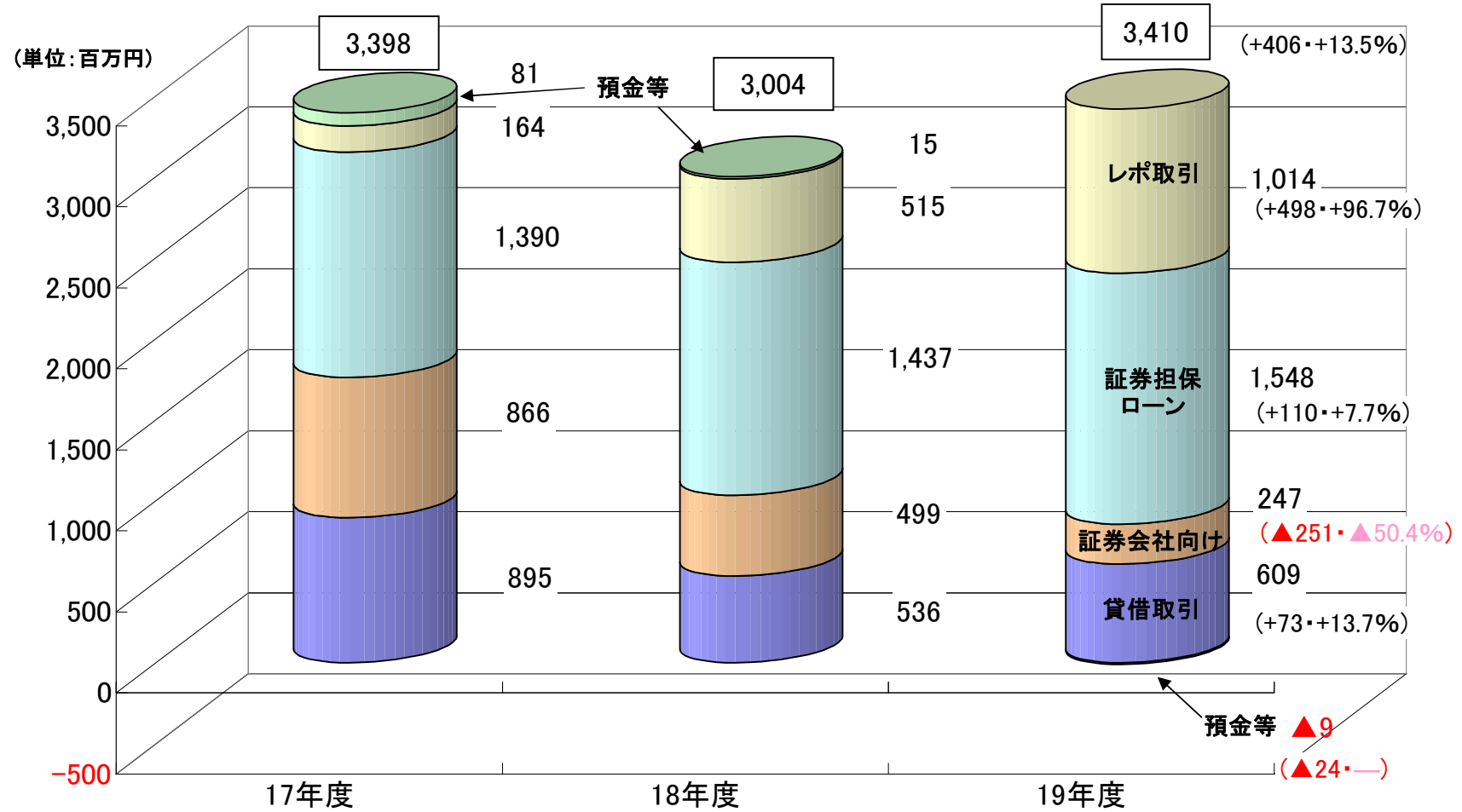
(3) 運用・調達利回り、利鞘

☆運用利回りの上昇が調達利回りの上昇を上回り、利鞘は拡大



(4) 利鞘収入

☆信用サポートローンが減収となったものの、レポ取引、証券担保ローンの増収を主因に増収



(5) 一般管理費

☆人件費、物件費、その他(償却勘定)ともに増加

